

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 ロボット工学コース 准教授 (氏名) 大貫 貴久

取組状況	
教育	<p>1.材料学Ⅰ、Ⅱについて、遠隔授業オンライン用パワポの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔授業中の全てオンラインで実施でき、板書状態を確認してより通常授業とほぼ同じように授業ができた。 <p>2.材料学Ⅰについて、オンデマンド用の穴埋め問題形式のパワポと音声解説教材を作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで授業に参加できなかった学生用兼、オンライン学生の復習用教材として活用。使用学生数は不明であるが、成績は例年とほぼ同じであった。 <p>3.数値解析Ⅰの内容変更を行い、ベイズ統計をとり入れが授業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験や提出プログラムから、基礎統計、線形回帰、簡単なベイズ統計問題をほとんどの学生が解けるようになった。
研究	<p>1.本校紀要の執筆:2報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大貫貴久、「ものづくり教育ためのバイス転用型簡易V字曲げ加工機の設計・製作」、産技高専研究紀要(2020) ・大貫貴久、「弾塑性異方性を考慮した有限要素多結晶モデル」、産技高専研究紀要(2020) <p>2.学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大貫、「弾塑性異方性を考慮した有限要素多結晶モデルによるアルミニウム粒ひずみの検討」、軽金属学会第139回秋季大会講演概要集(2020)、p55-56
社会貢献	<p>1.日本人事試験センター試験委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械系の「材料学」に関する作問と解答の作成 <p>2.オンライン高専祭参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鑄造からオリジナルメダル製作」、「オリジナル七宝焼製作」のPR動画を作成